

Performance Machine の納期遅れに対する状況説明

この度は納期の遅れにより、お客様に不快な思いをさせてしまいましたことを深くお詫び申し上げます。ご心配をお掛けしていること重々理解しておりますので、できる限り早く対応できるように努力しております。

PM では、ホイール、ローター、プーリーはお客様からの注文ごとにオーダーメイドで製作しています。非常に多くのホイールデザイン、ホイールサイズがあり、更にいくつかの仕上げの選択肢もあるため、当社の倉庫には在庫していません。

また当社では厳しい品質要求により生産工程のどこかで不合格となった場合、全工程を初めからやり直しています。このようなことが、同じ注文分または商品で 2 回も 3 回と発生することもあり、そうするとリードタイムが大幅に延びてしまいます。当社では、標準納期を超えて納期が延びることは絶対にありませんが、当社の高い品質基準を満たすために、複数回の不合格が発生することがあります。

また新型コロナウイルスの影響はもとより、現在 事業所の移転をしていることも納期の遅れに拍車をかけています。22 年間利用してきた 5 万平方フィートの施設の設備を移動し、新施設に 40 台以上の CNC 機械を設置するのは簡単な作業ではなく、時間もかかります。

当社が完全に稼働し、新しい最先端の施設の生産効率を活用できるようになれば、リードタイムを短縮することができるようになるでしょう。

お客様のご注文をタイムリーにお届けできなかったことを心よりお詫び申し上げます。私たちは、これらの問題を解決するために努力しており、今後も納期の遅れを克服するためのソリューションを作成することに注力していきます。私たちはお客様のご要望を敏感に受け止め、利用可能なすべての人員で課題に対応しています。

ご理解とご辛抱を賜りますよう、よろしく願い申し上げます。

Arlen Ness の納期遅れに対する状況説明

納期の遅れにより日本のユーザー様にご迷惑をおかけしており、心よりお詫び申し上げます。
昨年の新型コロナ感染拡大によるロックダウン、にも関わらず想定外の需要の増大などが納期の遅れの大きな要因となっております。

ただ現在納期を早めるにできる限りのことを行っております。
購買部のマネージャーは現地工場の生産を増やすために 現地に1ヶ月留まっておりました。
にもかかわらず船便では数週間の遅れが見られております。
部品供給元はできるだけ早く商品を完成できるようにできる限りのことを行っております。

お客様には心からお詫び申し上げますとともに、このパンデミックの中1日もシャットダウンしてはいないということをご理解ください。